

**Press Release**

2015年8月4日

**中国市場でのシステムソリューションを強化  
天津工場にロボット自動化システムを導入**

DMG 森精機株式会社(以下、DMG 森精機)は、弊社 天津工場に、横形マシニングセンタ NHC 6300 のロボット自動化システムを導入いたしました。ロボット自動化システムは、8月4日(火)~7日(金)に開催する天津オープンハウスで初披露いたします。

近年、中国では、人件費や物流費が高騰しており、生産性が高く、投資価値のある製品が求められています。そこで DMG 森精機は機械単体だけでなく、より生産性を高める自動化システムと機械を中国のお客様にご提案するシステムソリューションを行っています。

今回新たに導入した NHC 6300 のロボット自動化システムは、24 時間稼働や省人化が実現できるため、生産性向上を通じて、高い収益性および投資効果が見込めます。

天津工場では、自動化による自社の生産効率の向上を図るとともに、実際の生産に使用されている設備機の一例として、NHC 6300 のロボット自動化システムだけでなく、NHX 10000 の LPP(リニアパレットプール)システムや最新鋭の大型 5 軸加工機 DMC 340 U のパレットチェンジャ仕様も、自動化の一貫としてご覧頂くことができるようになりました。

DMG 森精機は、お客様の加工ワークに最適なシステムと、導入後の効果やアフターサービスまでを含めたトータルソリューションをご提案し、お客様を全面サポートしてまいります。

**■横形マシニングセンタ NHC 6300**

NHC 6300 は、拡大する中国市場に特化して開発した高剛性と高速加工を実現する 50 番テーパ専用設計の横形マシニングセンタです。4 月に開催された CIMT2015 で世界初披露し、自動車産業を中心に多くの分野のお客様にご使用いただいています。天津工場で生産を開始しており、納期短縮だけでなく、物流費の削減や為替によるリスク分散も図っています。

NHC 6300 は、「重切削加工に大きな威力を発揮する 1 台」をコンセプトに開発しており、頑丈な高剛性ベッドを採用しています。高剛性な構造により、加工時に発生する振動を最小限に抑えることで、安定した重切削加工を可能にしました。重切削に最適な 50 番テーパ主軸は、構造解析により最適化し、主軸軸受内径を大径化することで高い剛性を実現するとともに、主軸外径をコンパクト化し、ワーク・治具への接近性が向上しています。また、主軸モータのステータとベアリング周囲に冷却ジャケットを配し、発生する熱を効率よく冷却することで、精度の高い加工を実現します。外観は洗練されたカバーデザインであると同時に、加工エリアや段取りステーションへの接近性が良い設計となっています。さらに、保守性を高めるため油圧ユニットや各機器類をアクセスしやすい場所に集中配置するなど、さまざまな工夫を随所に取り入れています。

## ■主な仕様

項目		NHC 6300
移動量(X/Y/Z 軸)	(mm)	1,050/900/1,030
パレット作業面の大きさ	(mm)	630×630
パレットの最大積載質量	(kg)	1,500
最大ワークサイズ	(mm)	φ1,050×1,300
主軸最高回転速度	(min <sup>-1</sup> )	8,000 [8,000(高トルク仕様)] [15,000(高速仕様)]
早送り速度(X/Y/Z 軸)	(m/min)	60/60/60
主軸用電動機(8,000 min <sup>-1</sup> )	(kW)	30/25(30分/連続)
工具収納本数	(本)	リング式:60 チェーン式:[100][120]、ラック式:[180][240][330]
機械の高さ(床面から)	(mm)	3,228
所要床面の大きさ(幅×奥行き)	(mm)	3,930×5,827

[ ] オプション



写真 1. NHC 6300